

日本初開催の WORLD JUMP ROPE CHAMPIONSHIPS 2025

が川崎で開催されます！

～ジャンプロープの世界の頂点が川崎で決まる！～

川崎市では、川崎らしい地域資源である若者文化の発信により本市の魅力を高め「若い世代が集いにぎわうまち」を目指しており、その取組の一環として、若者文化に関連する大会の誘致等に取り組んでいます。

この度、**日本で初めての開催**となるジャンプロープ（縄跳び競技）の**ワールドチャンピオン**を決める「**WORLD JUMP ROPE CHAMPIONSHIPS 2025**」が令和7年7月27日（日）から8月3日（日）の期間中、**カルッツかわさき**（川崎区）で開催されます。世界各国の予選を勝ち抜いてきた**30以上の国と地域**から**2,000名を超える**選手達が川崎に集結し、熱い戦いを繰り広げます。

大会では、**スピード感あふれる競技部門**や、音楽に合わせた**ダイナミックでアクロバティックな技**で、観客を魅了するダブルダッチのコンテスト部門など、世界最高峰の技術を持った選手達による熱い戦いが、川崎の地で繰り広げられます。6月11日から現地で観戦ができる1日券の販売が始まります。また、この記念すべき大会にあわせて、大会告知イベントや小学校でのダブルダッチの体験教室なども行います。



大会での選手の競技イメージ（IJRU 公式リリースより）

WORLD JUMP ROPE CHAMPIONSHIPS 2025 大会概要

- 開催日時 令和7年**7月27日（日）～8月3日（日）**
- 開催場所 **カルッツかわさき**（川崎市川崎区富士見1丁目1～4）
- 主催者等 主催：国際ジャンプロープ連合（IJRU） 主管：日本ジャンプロープ連合（JJRU） 共催：川崎市
- 参加国 アメリカ、イスラエル、インド、オーストラリア、オーストリア、オランダ、カナダ、韓国、グアテマラ、ケニア、シンガポール、スイス、スウェーデン、タイ、チェコ、チャイニーズ・タイペイ、中国、デンマーク、ドイツ、パキスタン、バミューダ、ハンガリー、フィリピン、プエルトリコ、フランス、ベルギー、ポルトガル、香港、日本、ニュージーランド、マレーシア、南アフリカ（予定） 【50音順】
- 参加人数 約2,160名の選手が参加予定（日本選手273名、うち川崎市在住1名、川崎ゆかりの選手7名）
- 公式サイト <https://ijru.sport/2025-world-championships>（IJRU 公式サイト）
- 放送 Olympic Channel（オリンピックチャンネル）で配信 ※上記 IJRU 公式サイトからリンク（予定）

観戦チケット

- 購入方法 インターネット販売のみ
- 購入サイト http://cloud-pass.jp/project/ijru_wc2025
- 販売券種 8月2日・3日の一日券
- 販売期間 6月11日（水）19時～各種目の当日18時まで（一部券種は販売中、売り切れ次第、販売終了）
- 販売金額 3,300円～（12歳以下は2,310円～）

スケジュール

●主な日程（予定）

- ・ 7月27日（日）：IOT^{※1} スピード&フリースタイル
- ・ 7月28日（月）：IOT スピード&スリースタイル／開会式
- ・ 7月29日（火）：WC^{※2} チームスピード／WC チームフリースタイル
- ・ 7月30日（水）：WC チームフリースタイル／WC スピード&フリースタイル
- ・ 7月31日（木）：WC スピード／JWC^{※3} スピード&フリースタイル
- ・ 8月 1日（金）：JWC チームスピード&チームフリースタイル／チームショー
- ・ 8月 2日（土）：JWC・DDC^{※4}／WC・DDC／決勝戦&DDC
- ・ 8月 3日（日）：決勝戦&DDC

※¹ IOT：インターナショナル オープン トーナメント（本大会の出場権を持たない選手が試技を披露）、※² WC：シニア部門

※³ JWC：ジュニア部門、※⁴ DDC：ダブルダッチコンテスト（音楽に合わせて跳びながらダンスや技を披露）

関連する取組

大会の開催を通じてダブルダッチをはじめとするジャンプロープの普及啓発及び機運醸成を図るため、各地で様々な取組を実施します。また、川崎に訪れる選手たちに川崎市の魅力を知ってもらうため、川崎駅周辺で食事の際に利用できるミールクーポンを配布するなど、川崎を見て、食べて、楽しんでもらう取組を実施します。

●大会告知イベント『Jump Rope Challenge』の開催（JJRU、JR 東海、川崎市共催、IJRU 協力）

大会直前の7月26日（土）15時～19時30分にラゾーナ川崎プラザ・ルーフ広場で大会告知イベントを開催。ジャンプロープのチャレンジ企画や、ダブルダッチ等の無料体験会、世界大会出場選手等によるパフォーマンス等、ジャンプロープの魅力を感じられる企画を多数実施

●機運醸成に向けた小学校等でのダブルダッチ体験教室を開催

市内小学校等に、ダブルダッチの講師を派遣する体験教室を令和5年9月から開始し、本年5月末時点で計34か所、約3,800名の児童が参加。大会以降も令和8年3月まで実施予定

●大会で来日する選手達に川崎の食を楽しんでもらうため飲食事業者等と連携しミールクーポンを配布

大会参加者が川崎駅近くの商店街やショッピングモール等で利用できる食事券(500円券)を約10万枚発行し、川崎の食を楽しんでもらう取組。駅周辺商業施設・商店街等の約370店舗が参加

大会関係者や出場選手参加の開幕直前セレモニー（予告）

大会直前に以下のとおり、大会関係者や出場選手が参加する開幕直前セレモニーを予定しています。

●開催日時 令和7年7月25日（金）11時30分～12時00分（予定）

●開催場所 川崎市役所本庁舎2階ホール（予定）

●参加予定 川崎市長、国際ジャンプロープ連合（IJRU）ショオン・ハミルトン会長、大会出場選手 等

※詳細については、改めて報道関係者の皆様にお知らせします。

【ジャンプロープとは】ロープ(縄)を跳んでいれば、すべてジャンプロープ（なわとび）です。1人で跳ぶシングルロープ、複数人で行うダブルダッチ・長縄・2人跳び・ホイールなど、すべてジャンプロープの一種となります。

問合せ先

●大会・関連する取組に関すること

川崎市市民文化局市民スポーツ室 いしとこ 石床
電話 044-200-2347

●大会当日の取材に関すること

大会オフィシャル日本メディア担当 おさだ 長田
メール m.yuda@ov-t.com

①稲葉 海哉（イナバ カイヤ）選手



高津区在住。1999年9月29日生。昨年川崎にて行われたAJRU（アジア選手権）では所属チームのマイケルの一員として総合優勝という快挙を成し遂げた。ロープスキッピング全日本選手権では6連覇を達成し2021年のオンラインでのジャンプロープの世界大会でも総合優勝を果たすなど今大会でも注目選手。

（出場種目）

・個人戦…
シングルロープ個人30秒スピード
・団体戦…
ダブルダッチペアフリースタイル

②李 大樹（リ ダイキ）選手



1998年9月20日生。昨年アジア選手権では男子団体総合で金メダルを獲得。競技者として活動すると同時に、指導も行っており、カワサキ文化会館でも自身の練習や指導を行っている。現在は、ジャンプロープを普及するために日本国内だけではなく、国外でも様々な活動を行っている。

（出場種目）

ダブルダッチスピードスプリント
ダブルダッチスピードリレー
ダブルダッチシングルフリースタイル
ダブルダッチペアフリースタイル

※市在住選手は①のみ、
②～⑧は、カワサキ文化
会館で個人やチーム練習
を実施、④⑤は同会館の
スクールで子供達に指導
を実施している。

③チーム名 FORTH（フォース）



FORTHは、DOUBLE DUTCH CONTEST WORLDで2017年から3連覇を果たした伝説のプロダブルダッチチームREG☆STYLE（レグスタイル）のメンバーのKAI（市川快選手）が率いるチームで、メンバーは市川選手のほか、柴田恵理選手、白井冬馬選手、杉本春樹選手、工藤美怜選手の5人。カワサキ文化会館でチーム練習を行っており、市川選手と柴田選手は、同会館のスクールで子どもたちにジャンプロープを教えている。

（出場種目）

ダブルダッチスピードスプリント
ダブルダッチスピードリレー
ダブルダッチシングルフリースタイル
ダブルダッチペアフリースタイル

④市川 快（イチカワ カイ）選手



1992年1月31日生。プロダブルダッチチーム1998年11月12日生。昨年川崎にて行われたAJRU（アジア選手権）にて金メダル2個、銀メダル2個を獲得する快挙を成し遂げた。カワサキ文化会館のスクールや市内小学校での体験会でも子どもたちにジャンプロープの楽しさを教えている。

（出場種目）

ダブルダッチスピードスプリント
ダブルダッチスピードリレー
ダブルダッチシングルフリースタイル
ダブルダッチペアフリースタイル

⑤柴田 恵理（シバタ エリ）選手



1998年11月12日生。昨年川崎にて行われたAJRU（アジア選手権）にて金メダル2個、銀メダル2個を獲得する快挙を成し遂げた。競技者としては、2021年にコロナ渦のためオンラインで開催されたIJRU Virtual World Championshipsでダブルダッチシングルフリースタイルでの優勝等の戦績を残している。現在はカワサキ文化会館のスクールで教える等、ジャンプロープの普及活動にも力を入れている。

（出場種目）

ダブルダッチスピードスプリント
ダブルダッチスピードリレー
ダブルダッチシングルフリースタイル
ダブルダッチペアフリースタイル

⑥白井 冬馬（シライ トウマ）選手



1996年3月11日生。DOUBLE DUTCH CONTEST WORLD 2021、2022を連覇したFLYDIGGERZ（フライディガーズ）のメンバー。2022年アメリカで開催されたIJRUも選手として参加。川崎ルフロンにて月一回定期公演を行い、ダブルダッチの普及にも努めている。

（出場種目）

ダブルダッチスピードスプリント
ダブルダッチスピードリレー
ダブルダッチシングルフリースタイル
ダブルダッチペアフリースタイル

⑦杉本 春樹（スギモト ハルキ）選手



2004年7月30日生。小学生からジャンプロープを始め、競技者としては2021年にコロナ渦のためオンラインで開催されたIJRU Virtual World Championshipsでシングルロープスピードリレーで準優勝等の戦績を残している。プレイヤーとして学生シーンの最前線で活躍中。

（出場種目）

ダブルダッチペアフリースタイル

⑧工藤 美怜（クドウ ミレイ）選手



2004年8月3日生。小学生からダブルダッチを始め、キッズ時代から数々の世界大会で優勝という成績を収めてきた。昨年行われたAJRUアジア選手権ではスピードリレーにて準優勝。プレイヤーとして学生シーンの最前線で活躍中。

（出場種目）

ダブルダッチスピードリレー

ジャンプロープ（縄跳び）の主な種類と部門等について

① 【ジャンプロープの種類】

・ シングルロープ

1本のロープを1人が回して跳ぶ。一般的ななわとび

・ ダブルダッチ

2人の回し手が2本の縄を回してジャンパーが跳ぶ。

・ ホイール

2本の縄を用いて2人とも跳ぶ2人跳び

② 【部門】

・ スピード競技

規定時間内（30秒や3分等）にルールに基づく跳び方で、何回跳べたかを競う。個人戦、団体戦がある。

・ フリースタイル競技

各国より選出されたジャッジにより、国際規定に基づいたルールで技のスキル等を加点と減点方式により採点する。個人戦、団体戦（ペア、チーム）がある。

・ ダブルダッチ・コンテスト

ダブルダッチ（2人の回し手が2本の縄を回す）で、音楽にあわせダイナミックでアクロバティックに跳びながら、ダンスや技を披露する。

③ 【年代別カテゴリー】

・ ジュニア区分

12～15歳の選手

・ シニア区分

16歳以上の選手

※実際の種目は、①②③の組み合わせで細分化され実施されます。

例) シニア部門 シングルロープ30秒スピード、シングルロープチームフリースタイル
ジュニア部門 ダブルダッチペアフリースタイル 等



シングルロープ



ダブルダッチ

※写真はIJRU公式リリースより